



町 議 会



高
原
町

だより

たちばな

「高原町の町木」



91号

令和7年 1月臨時会(第1回)
3月定例会(第2回)

【目次】

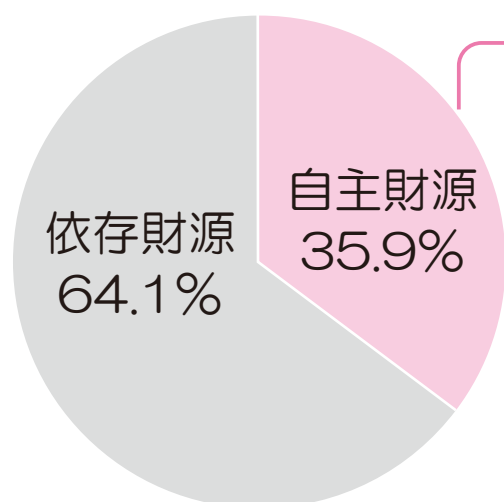
令和7年度予算	P 2～P 3
現地調査	P 4
議会のあらまし、公共施設の在り方検討特別委員会 経過報告	P 5～P 6
委員会報告(所管事務調査・行政調査)	P 7～P 8
議会の在り方検討特別委員会 中間報告	P 9
一般質問	P 10～P 13
きらり☆たかはるびと、編集後記	裏表紙

令和7年度予算を可決！ 66億4,700万円

対前年比
2億7,400万円
(4.3%増)

歳入

自主財源 23億8,556万7千円



町税
8億3,149万1千円
12.5%

繰入金
6億7,181万6千円
10.1%

その他(分担金・負担金、諸収入、寄付金等)
8億8,226万円
13.3%

依存財源 42億6,143万3千円

地方交付税
24億8,800万円
37.4%

国県支出金
11億2,703万3千円
17.0%

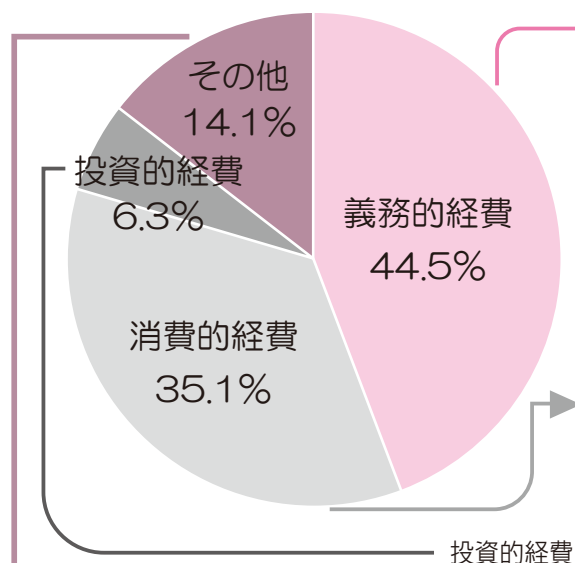
町債
3億4,480万円
5.2%

その他(地方譲与税・地方消費税交付金等)
3億160万円
4.5%

※ 【町債】 令和7年度末残高見込額 46億123万5千円

性質別歳出

義務的経費 29億5,488万6千円



人件費

14億3,954万2千円 21.7%
令和6年度よりも1億909万5千円(8.2%)増

扶助費

9億4,711万8千円
14.3%

公債費

5億6,822万6千円
8.5%

消費的経費

23億3,610万8千円

物件費・維持補修費
13億4,880万4千円
20.3%

補助費等
9億8,730万4千円
14.8%

普通建設事業費等
4億1,611万6千円
6.3%

繰出金・投資及び出資・貸付金等
6億3,918万3千円
9.6%

積立金
3億70万7千円
4.5%

その他

令和7年度主な事業 (※新規事業を含む)



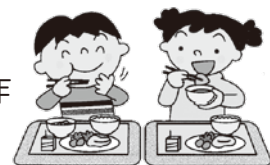
↑ 令和7年度 施政方針
並びに各会計予算説明

① 健康づくりと地域医療の充実

- ☆病院整備事業 1億355万3千円
- ☆健康増進事業 (健康教育・健康診査・訪問指導) 1,007万3千円
- ☆予防接種事業 3,799万5千円

② 教育環境整備

- ☆小中学校用務員業務委託事業 862万5千円
- ☆教育支援事業 1,467万円
- ※児童生徒及び保護者への教育相談、不登校児童生徒支援 (適応指導教室の運営) など
- ☆小中学校給食運営事業 (給食費補助など) 8,114万1千円
- ☆小中学校町費職員配置事業 6,905万2千円
- ※複式学級での学年別授業を行う「学習指導充実推進教員」、日常生活動作の介助や学習活動上のサポートを行う「特別支援教育支援員」配置
- ☆小中学校閉校・開校準備事業等 (新規含む) 3,429万円
- ※小中学校閉校記念事業、車両運行事業 (スクールバス購入・リース等) など



③ 災害に強いまちづくり

- ☆農業水路等長寿命化・防災減災事業 1,310万円
- ☆多目的防災拠点施設整備事業 (上麓区) 473万円



④ 農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出

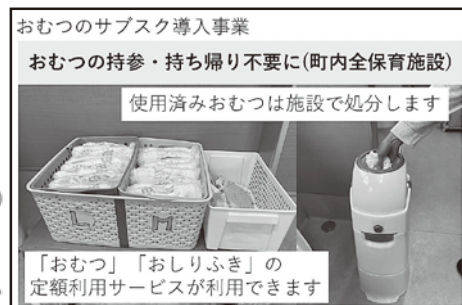
- ☆ガバメントクラウドファンディング事業 (新規) 600万円
- ☆地域商社活動・開発推進事業 7,197万5千円
- ☆高原町商工会補助金 (町内事業者連携多角的支援事業含む) 529万8千円
- ☆高原町再造林支援事業 685万7千円
- ☆県営畑地帯総合整備事業 (祓川第2、後川内1・2期、日守1-1期地区) 6,177万円

⑤ 観光の振興

- ☆霧島市との観光誘客連携事業 (新規) 127万7千円
- ☆インバウンド向けSNSチャンネル広告運用事業 (新規) 231万円
- ☆登山基地施設改修工事 1,200万円
- ☆皇子原公園・御池キャンプ村 (施設修繕・管理委託・改修工事等) 1,929万7千円

⑥ 子育て支援・少子化対策

- ☆支援対象児童等見守り強化事業 972万3千円
- ☆おむつのサブスク導入事業 (新規) 122万4千円
- ☆産後ケア事業 (新規) 406万3千円
- ☆出産・子育て応援交付金事業 1,131万7千円



令和7年度主な新規事業は、全39事業 2億1,128万円

令和7年度（新年度予算に係る）現地調査 令和7年3月11日（火）

○令和7年度高原町工事実施箇所 44事業費合計 3億7,651万699円



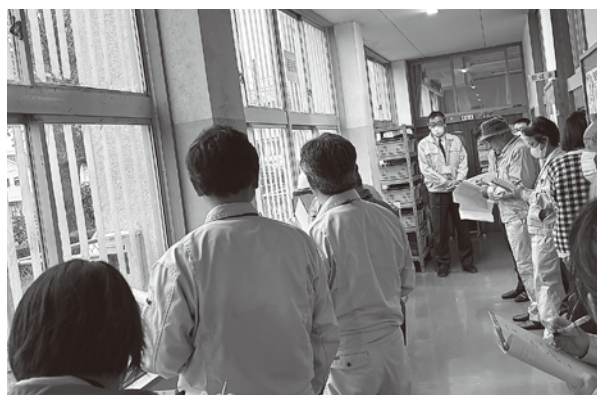
▲道路排水事業（単独）上町・霧島団地線



▲舗装補修事業（単独）地蔵原・大久保線



▲町営霧島団地集会所外壁修繕工事



▲高原小学校校舎改修工事



▲後川内小学校屋内運動場照明LED化工事



▲高原中学校図書館・パソコン室空調機器修繕工事



▲農地耕作条件改善事業 狹野地区



▲皇子原公園 コテージ改修工事

1 月臨時会のあらまし（第 1 回）

令和 6 年度高原町一般会計補正予算（第 1 0 号）

補正額：7, 832 万 1 千円

（主な事業）

低所得者支援及び定額減税補足 給付金給付事業・・・・・・・・・・5, 831 万 2 千円

3 月定例会のあらまし（第 2 回）

令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 1 号）

補正額：9, 000 万円

ふるさと納税特産品贈呈事業

・ふるさと納税特産品贈呈事業推進補助金・・・・・・・・・・4, 500 万円

・積立金・・・・・・・・・・4, 500 万円

※ふるさと納税額の増額が見込まれるため事務経費及び積立金等によるもの

令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 2 号）

補正額：8, 055 万 7 千円

令和 6 年度予算総額：74 億 4, 450 万 7 千円

（主な事業）

病院整備費（医師確保等対策事業補助金・不採算地区病院運営経費）・1 億 5, 596 万 5 千円

県営農地中間管理機構関連農地整備事業負担金・・・・・・・・・・338 万円

災害対策費（備品購入費）・・・・・・・・・・418 万 7 千円

学校施設整備事業（工事請負費）・・・・・・・・・・2, 765 万 5 千円



↑ 令和 6 年度
一般会計補正予算第 12 号

報告第 1 号 令和 7 年度奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社第 5 期事業計画

令和 6 年度“ふるさと納税寄付額 5 億 6, 900 万円

（令和 7 年 1 月現在：前年度同期比 1, 300 万円増）

第 4 期における決算見込み額 713 万 1, 207 円（当期純利益）



同意第 1 号 固定資産評価審査委員会の委員の選任

再任：増田 玲子 氏（令和 7 年 5 月 8 日から令和 10 年 5 月 7 日まで）



諮問第 1～3 号 人権擁護委員の候補者の推薦

再任：久保田 光信 氏 新任：西村 さと子 氏 新任：原田 智子 氏

（令和 7 年 7 月 1 日から令和 10 年 6 月 30 日まで）



議案第 2 号 職員等旅費支給条例の一部を改正する条例

農林水産省との人事交流を行い、省より派遣される人材の受入の円滑化を図るために改正する。

議案第 8 号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告並びに国家公務員の給与改定等に鑑み、給与に関する所要の改正を行うもの



議案第 9 号 職員定数条例の一部を改正する条例

主に、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会のアーチェリー競技に係る準備及び運営体制構築のため。



議案第10号 高原町都市公園条例の一部を改正する条例

総合運動公園の「サッカー広場」「多目的芝広場」「ふれあい広場」「運動用具倉庫」の区画の明文化及び「児童・生徒」「一般」から「児童」「生徒・一般」と改め、利用者の町内、町外の区分を設け、使用料金の改定を行うもの



議案第11号 行政財産使用料条例の一部を改正する条例

役場庁舎敷地をはじめとする行政財産（土地）の利用について、自主財源の確保等の観点から、利用料積算の改定を行うもの、また、土地利用料金の積算見直しに伴い、建物の使用料積算についても見直しを行うもの



発議第1号 高原町議会会議規則の一部を改正する規則

各種手続に関するオンライン化による整備として、文書等をデジタル化し、伝達等送受信が出来る事を明文化するもの、また、議場入室の際の携帯品について、現代社会で使用されていない機器や携帯品の表記を改めるもの

発議第2号 高原町議会委員会条例の一部を改正する条例

大規模な災害発生や感染症の蔓延、育児や介護などの事由が生じた場合、委員会をオンラインで開催することができるよう整備するもの

表決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和7年 第2回 定例会 議決結果(内容)

件名	議決結果	①西嶋陽代	②岩元礼子	③福澤卓志	④温水宜昭	⑤末永充	⑥外村仁	⑦郡山貞利	⑧山下香織	⑨陣圭介	⑩前原淳一
議案第9号 職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号 令和7年度高原町一般会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号 令和7年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第20号 令和7年度高原町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

公共施設の在り方検討特別委員会 経過報告

これまで、本委員会では委員会協議を含め公共施設等に関する調査研究を委員会設置から2年間で計5回開催して参りました。

役場庁舎に関する調査及び学校建設等の行方、公共施設の長寿命化等に関する内容を調査研究を行い、各議員も一般質問等で公共施設等に関する内容を取り上げ、質問し意見を述べました。

【開催日】

令和5年10月18日、11月22日、令和6年1月19日、9月4日、令和7年1月20日

1. 期 日 令和7年2月3日（月）
2. 調 査 奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社
現地調査 【空き家活用事業】山すそ雫の宿「稲穂～inaho」（南狭野活性化センター近く）
3. 調査内容 令和4年3月25日に設立し、令和7年で約3年が経過。地域商社の最重要事業である「ふるさと納税推進強化事業」と「タウンブランディング事業」等の調査を行った。

（1）ふるさと納税寄付額

令和4年度は4億4,000万円、令和5年度は5億8,700万円となり、令和6年度は、1月末時点の集計で、5億6,972万1,600円となった。3月末までには6億円を超える見通しとなる。返礼品の展開数は令和6年11月31日現在、56件が参画している。近年は物価高で日用品の需要が高いため、日用品の返礼品開発などを積極的に取り組んで行く。

（2）タウンブランディング事業の事業実績

①特産品開発事業

これまで、ニジマスの干物、狭野杉で作った御朱印帳、米粉チュロス等の特産品を開発し販売を行なった。今後は、鹿児島山区長の協力を得て赤そばを使ったお菓子を販売する。

②空き家活用事業（都城高専と共同で古民家再生）

民泊を目的とした古民家再生を都城高専との共同でリノベーション（内装の壁塗り、床等）を行った。今後は、地域とのコミュニティの場としてイベントもできるよう進めていく。

③NEXCO西日本連携事業

令和6年5月から「動くサービスエリア」として稼働。キッチントレーラーを牽引して、「OK★チュロス（高原町産米粉使用）」を各種イベントやショッピングモール、宮原サービスエリアでの販売と本町PR活動を行なった。

④商店街ふれあい創出事業

軽トラ市の方々から引き継いで、「たかはるカーニバル」を実施。また、地元の高校生らと連携して、飲食物販売等を企画し若者が集う仕掛けづくりに取り組んだ。

⑤日本航空協力事業

令和5年度は、日本航空の協力を得て、令和6年度は文化庁の補助事業を取り入れ、自然災害等で倒木した御神木「狭野杉」を活用した御神木ヴァイオリンのチルコンサートを開催した。

⑥魅力情報発信事業

令和4年度に高原町の誘客を目的として、御池キャンプ場を題材としたCMを作成した。

令和5年度はCMを作成し、ネット上で発信した。ラジオの公開生放送も組み合わせて実施した。

⑦事業承継推進事業

町内で後継者不足に悩む事業者に対し、事業承継の募集サイトを活用した。募集は7件あり、そのうち4件が成約した。本町の事業継承事例が、NHKで放映された。

《考察》

地域商社の最重要事業である「ふるさと納税推進強化事業」と並行しながら、「タウンブランディング事業」として事業化を模索しながら各種事業に取り組んでいた。

また、関係人口・交流人口創出を目的に取り組んでいる。

今後も、高原町の財源確保や本町の特産品を全国へPRして頂き、地域住民との情報交換を積極的に行い、高原町の魅力発信に向けて取り組むことを望む。



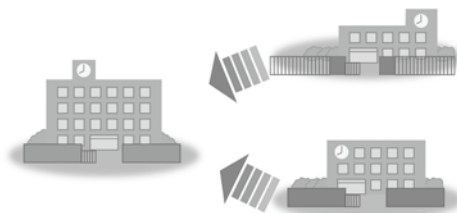
▲山すそ雫の宿「稲穂～inaho」



▲産業創生課・地域商社

本町では学校統廃合を令和8年4月に控えているため、他自治体の学校統廃合及び廃校跡地利用について調査・研究を行った。

1. 期 日：令和6年10月31日～11月1日
2. 場 所：大分県玖珠町、福岡県みやま市



◆大分県玖珠町（中学校7校を1校に統廃合）

廃校跡地利用

- ① 森中学校跡地
校舎は民間7社によるサテライトオフィスとして活用、体育館・グラウンドは行政活用。
- ② 玖珠中学校跡地
民間売却に向けてプロポーザル選定中。
- ③ 北山田中学校跡地
グラウンドのみ民間福祉施設へ売却、体育館は行政活用。
- ④ 八幡中学校跡地
地域コミュニティ利用（1F）、埋蔵文化財などの展示・保管庫（2F・3F）
- ⑤ 古後中学校跡地
地域振興策として地域おこし協力隊が一部利用。

◆福岡県みやま市（小学校15校を6校に、中学校4校を3校に統廃合）

廃校跡地利用

- ① 山川南部小学校跡地
校舎をカフェ・加工室・シェアオフィス・リモートオフィス利用。グラウンドをバイオマスセンターとして利用。

《行政調査まとめ》

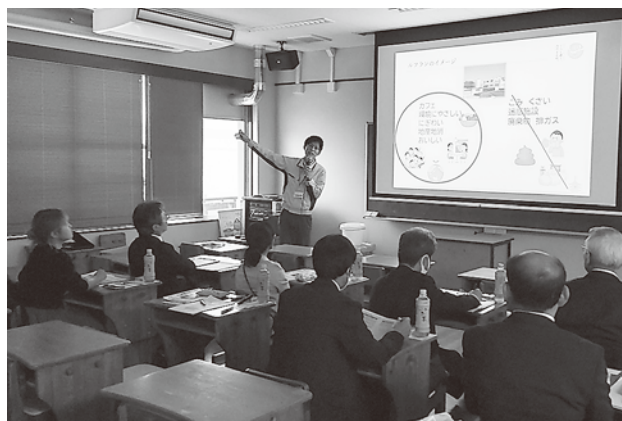
全国の地方自治体が抱える問題として人口減少や少子高齢化による既存施設の今後の在り方が注目されている。特に学校施設においては地域住民の想いが強く、廃校となると地域住民の喪失感は計り知れない。

しかし、急速な少子化の進行により今までのような学校編成の継続は困難であり、将来を見据えた新たな学校編成を構築しなければならない。

本町では令和8年度から学校統廃合が決まっているが、学校跡地利用には方針が示されていない。地域振興や地域活性化、将来世代に負担を残さないという考えのもと、学校跡地を利用したシェアオフィス、新規起業者のスタートアップスペース、地域の憩いの場、学習施設など、今回の調査も活かしながら、今までにない新しい観点からも施設利活用を考えていきたい。



▲大分県玖珠町



▲福岡県みやま市

議会の在り方検討特別委員会

議員の処遇（定数・報酬）に関する中間報告

議員の処遇（定数・報酬）に関して、3月定例会最終日（19日）に中間報告を行いました。

概要は以下のとおりです。

現職議員10名の態度

議員定数

◎減らすべき 5名

- ・妥当と考える定数
9（1名）、1～2減（2名）、8（2名）
- ・主な理由
「人口に合わせる」
「委員会審査は全員で出来るレベル」
「報酬増は定数減を前提とすべき」

◎現状のまま 5名

- ・主な理由
「幅広く町民の意見を反映できる」
「減らすと委員会構成に無理が生じる」

議員報酬

◎増やすべき 9名

- ・主な理由
「任期後の就職や収入の保証がない」
「現報酬では子育て世代には厳しい」
「なり手不足の解消につながる」

※妥当な金額やその根拠については、現時点で協議がまとまっていません。

◎現状のまま 1名



これらについては、今後引き続き協議を進めていくこととなりますが、議員報酬については、議会として金額の妥当性などの判断材料が整った時点で、当局に対して意見交換など、次の段階の手続きを申し入れていくことを決定しています。

☆ご相談・お悩み事などありましたら、議員へお寄せ下さい。

日常生活の中で、町民の皆さんが抱かれる疑問点、ご相談、お悩み事などがありましたら、町議会議員の活用をご検討ください。

身近に議員がいなかったり、連絡先をご存じない場合でも、議会事務局までご連絡いただければ、相談できる議員を派遣する体制を取っています。

是非、ご活用ください。

高原町議会事務局

電話：0984-42-5138（直通）

メール：gikai@town.takaharu.lg.jp



重要な決断は二人で行っているのではない。 我々議員もその二役を担っている。



ふくざわ たくじ
福澤 卓志議員



(一般質問の様子)

●町長進退

問 山積する問題に対して対応出来ないのであれば、早期に退任していただけないか。

答 退任はしない。任期満了を迎える10月14日まで行う。

問 これまで、広原地区町営住宅(残り4棟)建設の先送り、学校建設の断念及び先送り、役場庁舎耐震問題への未対応、町立病院経営に関する問題など、町民への説明が必要だが。

答 公の建物など諸課題については、任期中に結論を出し、説明していく。

●ハラスメント対策

問 カスタマーハラスメント対策は他の自治体でも進んでおり、本町で

も電話機能などを更新するなどして、対策する必要があるのでは。

答 カスハラ対応については、一人で抱え込まないようサポートしていく。また、電話機能の更新については、庁舎移転や建替などのタイミングになる。

問 名札のフルネーム表示を止めた宮崎県庁や県内自治体のように、本町もフルネーム表示を改めてはどうか。

答 4月から写真も止め、苗字のみとする。

●ペーパーレス対策

問 3回目の質問となるが、議会タブレット端末等導入出来ないか。

答 費用対効果などが低いため導入は行わない。

(意見)

コストは、コピー代、編集作業、印刷製本、配布、保管など費用だけではなく、人的な労働に対するコスト削減も求められる。

国スポ等を利用した町の活性化を！



いわもと れいこ
岩元 礼子議員



(一般質問の様子)

●国スポ、障スポについて

問 2年後に開催される国スポ、障スポの進捗状況は。

答 競技の円滑な運営に関し必要な準備を行うことを目的とした「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ高原則実行委員会」を設立した。総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通などの専門部会を設け、準備を進めていきたい。また、本町で開催されるアーチェリー競技を子供たちをはじめ町民への体験会実施など親しんでいただき知ってもらう。アーチェリー選手、関係者、報道等の受け入れ人数は約1,476人。

●物価高騰対策について

問 生活困窮者への対応について、生活保護受給決定した件数は。

答 令和5年度13件。

令和6年度8件。

問 生活困窮での生活相談件数は。

答 令和6年度福祉課において21件。

問 生活困窮者への生活応援給付金(クーポン券) 交付の考えは。

答 令和6年度住民税非課税世帯に対して3万円の給付をしているのでクーポン券を交付する考えはない。

●農業用廃プラスチック処理費助成について

問 不定期の農業用廃プラスチック処理の集荷処理費用助成の定期化は。

答 高原則農業用廃プラスチック適正処理対策推進協議会において適正な処理体制の確立を図っている。定期的な運用方法等については協議していきたいと考えている。



将来世代に負担を残さない施策を！



こおりやま 郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

●町長の政治姿勢について

問 任期満了を10月に控え、町長の実行すべきことは。

答 掲げた公約に対し、各種施策を推進してきたが達成できたもの、未だ達成できていないものもある。それらひとつひとつの公約実現に向け、任期満了まで全力で取り組むことが私の責務であり、実行すべきことだと考えている。

●病院事業について

問 病院事業への他会計からの繰入は2億円までとし、不足する場合は金融機関から借り入れるという考えについて、変更はないか。

答 民間金融機関からの借入れも選択肢としてありうると回答したが、会計年度内における一時的な資金不

足を補う手段としては可能だが、複数年度にまたがる借入れは地方債となり、要件を満たさない。このため、病院会計に資金不足が生じた場合は、一般会計から追加の繰入れを行うか、町が保有する基金より長期的な貸付けを行うしかない。

問 令和6年度病院事業に対する損失削減対策の効果は。

答 他会計繰入金を除いた「修正医療収支」に換算し比較すると一億1,500万円の収支改善が図られるものと考えている。

問 令和6年度の病院事業損失削減対策の効果を踏まえ、令和7年度に向けた新たな損失削減対策は。

答 救急受入体制の充実、午後外来診療の再開により医療収益の底上げを図り、計画的に企業債を活用した機器の更新を行い収益的収支の改善を図っていく。また、接遇研修、電子カルテの検討を進め、患者の満足度向上にも取り組んでいく。

予算が無くてもできる事は迅速に対応を！



ほかもら 外村 ひとし 議員



(一般質問の様子)

●防災について

問 公共施設等整備基本方針の進捗状況について。

答 公のたてもの等整備検討委員会より3月中旬に答申をいただき、議会への報告後に方針決定していく。

問 社会福祉協議会との連携協定の進捗状況について。

答 令和7年3月中旬に協定書の締結を行う予定としている。

●観光・特産品について

問 登山道整備の進捗状況について。

答 高千穂峰登山道天孫降臨コースについて、今年度中の整備完了を目指している。

問 開発した特産品のPR状況、特に焼酎「高天原」について。

答 販売数量は年間1,000本弱で、ふるさと納税は年間15本程度が

出荷されている。

(意見) ふるさと納税に年間15本は少なすぎる。他の特産品も含めて、もっとPRをした方がいいのではないか。

●デジタル化対応について

問 行事の出欠等の回答方法について、インターネットと電話に統一できないか。

答 町として各種回答を電話やインターネットに限定する方針は打ち出していないが、今後町民のニーズ等を把握しながら負担軽減・経費削減を考慮し取り組みたい。

問 マイナンバーカードによるコンビニエンスストア等における証明書等の自動交付について。

答 令和7年度に実施、12月頃までには運用開始と考えている。

(意見) マイナンバーカード交付率の高さを誇る前に、町民の利便性を上げる為に、マイナンバーカードをどう活用するかを考えるべきではないか。



令和6年度高原町重点施策の検証と課題



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員



(一般質問の様子)

問 健康づくりと地域医療の充実は、

答 各種健康診査や予防接種事業等に取り組み保健衛生体制の充実を図るとともに、高原病院に関しては、公立病院としての役割や機能を維持しつつ、令和6年4月から一部病床の休止(56床↓40床)、地域ケア病床の増床(10床↓26床)、医療スタッフの削減(78名↓66名)等の経営改善に努めてきたが、依然として厳しい経営状況が続いている。

問 教育環境の整備は、

答 令和8年度の小中一貫教育事業に取り組み、学校建設については、財源確保に向けて更なる財政緊縮に努める。

問 農林水産業・商工業の振興は、

答 畜産は国・県・JAなどの関係団体と連携した支援を行い、若手の後継者も育ててきており、園芸振興については、畑かん事業を連動して取り組んでいる。

また、商工業の振興を図るため、地域商社と商工会などが連携し、ふるさと納税等による地域振興と関係人口・交流人口増へ取り組む。

問 子育て支援、少子化対策は、

答 こども家庭センターを設置し、妊産婦・子育て世帯、子供への一体的相談支援体制の強化を図った。

また、副食費や保育所利用料の軽減措置や子ども医療費助成など各種医療費助成事業、小中学校給食費の半額補助などに取り組み、子育て世代の経済的負担軽減を図っている。

問 災害に強いまちづくりは、

答 台風災害等による甚大な被害からの早急な災害復旧に努めている。



▲災害復旧工事(中入木6号線)

時代の変化に合わせた対策を！



やました かおり
山下 香織議員



(一般質問の様子)

●動物福祉

問 町内の犬猫に対する不妊手術の助成が早急に必要では。

答 本町独自の事業構築には一定の時間が必要。

問 団地の条件付きペット可は、

答 ペット共生可能な住宅を設定する必要があるか調査研究していく。

問 本町独自の健康な牛とは、

答 企業版関係人口づくり推進協議会事業において本町の牛肉を説明する際に用いているキャッチフレーズであり、ふるさと納税でも積極的にPRする事により寄付額の伸びと共に顕著に認知度も向上している。

問 猟師のなり手不足の観点や職員・猟師さん・仕留められる野生動物への負担軽減の為に獣医師と連携して麻酔等で意識喪失させてから仕留める等の対策は出来ないか。

答 現時点では調整すべき課題等が多々あるので調査研究する。

●町職員の兼業

問 人手不足等様々な観点からも兼業許可の条件見直しが必要では。

答 申請内容と法令及び人事院の公表資料等を照らし合わせ判断していく。

●世代間交流

問 町民のコミュニケーションを深める取り組みが必要では。

答 地域住民自身が地域の魅力を再発見し、自分達が楽しめる行事等を自ら立ち上げ持続させる事が重要。この様な仕掛け作りを町内に広げ地域全体の絆を深めることを目指す。



▲地域住民で取り組む後川内夏まつり

一般質問「」が聞きたい



Q & A



にしじま はるよ
西嶋 陽代議員



(一般質問の様子)

●高齢者福祉

問 訪問介護サービスの報酬改定に伴う基本報酬の引き下げを受けて、事業所は厳しい状況に置かれている。運営に関して事業者からの相談は、町独自の支援は。

答 訪問介護サービスを受けている方は、12月31日現在で51人。事業者からの相談はない。社会福祉協議会の1事業所で、運営費補助をしている。

問 配食サービスの利用拡充は。

答 低栄養状態の高齢者に対して、栄養改善及び、見守りを兼ねて実施。令和6年4月は3人で76件。

周知する。

問 福祉大会の出席者が少ない。開催時期の検討や金婚式・米寿のお祝いも兼ねて祝歌や祝舞を行っては。

答 福祉の向上につながる大会に向けて検討する。

●小・中学校施設（体育館等）の空調設備

問 空調設備の設置の要件に、避難所として指定されているかが必須だが。

答 高原小、高原中、広原小を指定している。

問 断熱・遮熱対策は。空調設備の設置は。

答 屋根については、ほぼ断熱材を使用している。断熱性能の調査を経て、設計、工事となる。

●観光資源

問 祓川、せせらぎ水路のトイレを洋式水洗化できないか。

答 利用状況や維持管理をされている祓川区の意向等を調査する。

問 EV充電器の設置は。

答 官民の取り組みに分け隔てなく、柔軟に、幅広く調査・研究し、対応する。



▲祓川せせらぎ水路のトイレ



令和7年第2回定例会の様子

宮崎県町村議会議長会表彰



正副議長として6年以上在職 前原淳一議長

3月は「自殺対策強化月間」となるため、議員、執行部共にブルージャンパーを着用しました。



(昨年9月にも着用しました。)





狭野神社に奉納されている マークエステル氏の絵画

マークエステル氏は1943年パリに生まれ、外交官から画家に転身し、その後50年以上にわたり、日本神話を題材に制作活動されました。日本全国100余ヶ所の神社に絵画を奉納されました。その中の1枚が2015年に狭野神社に奉納されております。3月27日に開催された高原町制施行90周年記念講演会『神武天皇と高原町』において、ほほえみ館神武ホールで展示されました。次回の展示は未定です。

2023年マークエステル氏は御逝去されました。

《マークエステルコレクションズ/Ikono Art.HPより一部引用》

編集後記

温故知新

福澤委員長を筆頭に、西嶋副委員長、山下議員、岩元の4人で議会だより編集を行ってきました。

誰にでも手に取って読んでもらえるように今までの歴史を受け継ぎながら、新しい形も模索し、手探りで作成してきました。なにより、一人でも多くの町民の声や話題となる場所を紹介するべく駆け回ってきました。今迄と違った議会だよりになったと感じてもらえたらうれしいです。

私たちの議会だより作成は今回までですが、沢山の勉強をさせて頂いた2年間でした。次回からは新しい委員メンバーにバトンタッチです。ありがとうございました。

編集後記 岩元 礼子



取材のご協力
ありがとうございました。

高原町議会主催 議員と語ろう会

期 日	場 所	時 間	備 考
4月21日(月)	狭野小学校体育館	午後	※どの会場でも参加できます。 ご都合の良い日に是非ご参加ください。 【問い合わせ】・・・最寄りの 高原町議会議員 又は 高原町議会事務局 ☎ 0984-42-5138 ✉ gikai@town.takaharu.lg.jp
4月22日(火)	後川内小学校体育館	7時00分	
4月23日(水)	広原小学校体育館	～ 午後	
4月24日(木)	ほほえみ館中研修室	8時30分	

【内 容】 ○議会からの報告

○意見交換会・・・テーマ～ 高原町のまちづくりを考える

「高原のいいところ」「10年後の高原のあるべき姿」「暮らしの困りごと」など

皆様のご来場をお待ちしております!

※グループに分かれて行います。



令和7年4月1日に全戸配布されました「議員と語ろう会」の案内文書に間違いがありました。下記の通り、訂正しお詫び申し上げます。

誤：議員と語ろう会 → 正：議員と語ろう会